

心の種

学校教育目標
自ら学ぶ
心身ともに
健やかな生徒

学年目標
凡事徹底
当たり前のことを
当たり前のできる学年に

川崎市立霞ヶ関東中学校
2021年10月4日(月)
第一学年 学年通信
No.11 文責：S

～ 内に秘めたる“蓄えた心” ～

分散登校から始まった8月末。一斉登校が始まった先週。そして、今週からはいよいよ通常通りの登校になりました。日々の生活の中で大切にすべき、授業や友人との関わりも少しずつですが、戻ってきているように感じます。ただ、接触や給食時に気を遣わなければならないのは心苦しい限りです。もう少しの辛抱と思いつつ、心のディスタンスは“手を取りあい助け合える近さ”でいましょう。

さて、今回はみなさんに質問してから話を書いていこうと思います。

「コツコツと蓄(たくわ)えておくものは何ですか？」＝ ()

色々な答えが出てきているのではないかと思います。努力、経験、信頼…中にはお金と答える人もいるでしょう。ここでは、“徳”と答えておきます。“徳”とは「①身に付いた品性。社会的に価値のある性質。善や正義にしたがう人格的能力。②広く他に影響を及ぼす望ましい態度。」とあります。では、この“徳”とは、どのように身に付くのでしょうか。学校生活では“徳”を蓄えられる場面がいくつも存在します。例えば授業の中、学級活動(給食・清掃・係活動など)、友人との関わり、部活動などです。この中で分かりやすく“徳”を蓄えられるものとして【清掃活動】を例に挙げてみます。

【清掃活動】とは自分達の使っている場所や物を綺麗に保ち、良い環境の中で集中して学習に取り組めるようにするための活動です。ただ、自分以外の人が使っている所や汚れがあるところ、ゴミが落ちているところなどを積極的に清掃するには、どうしても気が進まないと思います。しかし、考え方を少し変えるだけで取り組むことの大切さが実感できると思います。

有名なメジャーリーガー大谷翔平選手を輩出した高校野球の全国常連校、花巻東高等学校野球部には伝統的な“目標設定シート”が存在します。将来の目標は何なのか、自分がどのような姿になりたいのか、そのために自分はどのような行動をとっていくのかを記したものです。いわゆる“ライフプラン”だそうです。(下記参照)

本来は9×9のマス目の中心に
なりたい姿を設定し、様々な項目を
立て、更に9×9のマス目に分けて、
具体的な行動を書いていくそうです。

ここで注目なのが、右側の「運」の
項目。「あいさつ」と「ゴミ拾い」と

感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む

「部屋そうじ」と書かれた言葉が目に入ります。高等学校へ入学し、こうやって目に見える形で、何をすれば夢に近づくかを記す中に、野球だけでなく”徳”をコツコツと蓄える項目に【清掃活動】を入れて、それも夢を叶える力になっているのが実感できます。

メディアでも彼の人柄の良さや野球に真摯に取り組む姿は絶賛されています。しかし、元々身についていた“徳”ではなく、コツコツと何十年とかけて蓄えられた彼独自の“徳”が大きな夢や偉業を成し遂げるための力となっているのは言うまでもありません。

緑学年のみなさんも、全体的に【清掃活動】によく取り組んでいます。では、個人はいかがでしょうか。ほんの少しでいいので、“徳”を蓄えるためと思い、「あと1mm!」、「あと1拭き!」、時間いっぱいまで取り組む姿勢を身につけていきませんか?